

支部長・副支部長 感想

各務連合支部の皆様へ感謝

社会福祉協議会各務連合支部

1年を振り返って

社協各務連合支部 支部長 澤井 安直

平成25年度も残りわずかとなりました。地域の皆様には社会福祉協議会各務連合支部の活動にご理解、ご協力を賜りまして誠に有り難うございます。社会福祉協議会に今迄何かかわりがなかった私が支部長をお引き受けしましたが、当初企画した活動計画を順調に進めることが出来た事は偏りに関係各位の温かいご支援とご協力の御蔭と深く感謝申し上げます。

毎月各地域の公民館を巡って開催しました『地域ふれあい広場』では、ほとんどの会場で大勢の参加をいただき盛況に終えることができました。現在、行事やお知らせなどの広報は、回覧板でお伝えすることが多いですが、顔を合わせてお話しする事、物事を伝えることの大切さや効果の大きさを改めて感じました。

『声かけ』や『地域で集まる』など、顔が見える関係を作ることが福祉活動の第一歩であり、地域の絆を深める上で大事なことです。地道でありますがこの活動を続け、重ねることで、旧各務地区がいつそう絆の強い地域となることを願います。

活動の基本方針は『ささえ さらされて みんなが主役の まちづくり』です。地域の皆様が社会福祉協議会の活動に積極的に参加をして下さいました事に深くお礼申し上げます。

社協各務連合支部会員の皆様へ感謝して

副支部長(民生委員) 長縄 光洋

民生委員として、6年間社会福祉協議会各務連合支部にお世話になりました。ありがとうございました。

思い出してみると、社会福祉協議会の存在は知っていたものの、その活動については何も分かっていませんでした。最初は、社協の役員の方や先輩民生委員のご指導を得て、事業を成功させるよう努め、後半は事業への参加者を如何にして集めるかの試行錯誤でした。

地域ふれあい広場では、参加者と一緒になって工作、皿回し、バルーンアート、綿菓子、ビンゴゲーム等で楽しく活動することができました。子供会、自治会、シニアの方々とボランティア、近隣ケアの方の協力のたまものと感謝しています。

高齢者友愛訪問では、近隣ケアグループの皆様の協力を得て多くの高齢者の方との語らいの場をもつことができ、気持ちの良いひとときを過ごさせていただきました。

歳末たすけあい特別事業(歳末座談会)、地域コミュニティ会議では会場がいっぱいになるほど多くの方に参加していただき本当に有難うございました。

各務連合支部独自の「高齢者(障がい者) 援護台帳」の作成についても自治会の皆様の協力によりつくることができましたが、毎年の更新ができなかったことを申し訳なく思っています。

最後に、社協各務連合支部の今後益々の発展を祈念して、退任のことばといたします。

社会福祉協議会会長表彰・感謝状の受賞者

- 第47回各務原市福祉大会(平成25年11月12日開催)にて下記の通り表彰されました。(敬称略)
- ボランティア功労 民生委員児童委員功労 地域福祉感謝状
 - ボランティア功労 民生委員児童委員功労 地域福祉感謝状
 - ボランティアハウス船山、ボランティアハウスおがせ
 - 五島和彦、長縄光洋、白木登美子、篠田恵理子
 - 玉置光治

社協支部
だより

村 国 の 郷

第38号

編集・発行
各務原市社会福祉協議会
各務連合支部

健康な死に方は 一条の涙を流す

今年も第十五回歳末地域福祉事業(地域ふれあいの会)が、十一

月二十四日(日) 昨年の開催場所である村国会館から慈眼寺に移して行われ百六十名余りの参加を得て、学びそしてふれあいました。

まず、慈眼寺宮崎住職より「健康的な死に方」の法話をしていたいただきました。住職は禅の厳しい修行をされた方なので、堅苦しい法話かと想像していたところ、意に反しユーモアを交えて大変分かりやすくお話してくださいました。

物事を見るには一面だけを見ないで全体を見ることが必要であり、あらゆる物事を私たちは自分の能力の及ぶ範囲で見たり理解したりしているにすぎない。あらゆる物事を見るのに、自分の見方が正しいのではなく、様々な見方がある

ことを知らなければならぬ。

「健康的な死に方」とは。人間は常に有難う、有難うとって涙を流す。涙は悲しい時のみならず、嬉しい時にも出る。死ぬときは「一条の涙」を流せ、そうすれば周囲の人は感謝でうれし涙をながしていると理解する。出ないときは体をつねって痛みができれば自然と涙がでる。そういう努力をしても涙を流して死んでもらいたいのものです。と笑いを誘いながら有り難い教えを話していただきました。今から自分がどのように生きていくのかを考えるよい機会になりました。

その後、柔軟体操で体をほぐして心身共にリラックスした後、「かとうまさしの歌謡宅急便」で歌を聴いたり一緒に歌ったり、舞踊などを見て楽しみました。参加者の方々も和気あいあいと、楽しいひと時を過ごすことができました。



参加者皆で楽しく過ごしましたふれあいの会各場面

<民生委員・児童委員>

- | 氏名 | 電話番号 | 担当自治会 |
|-------|----------|--------------|
| 白木 充 | 384-0938 | 川崎団地、須衛第一・第二 |
| 早川 富保 | 384-5381 | 須衛第三・第四 |
| 長縄 秀平 | 337-1434 | 東組北 |
| 矢崎 武芳 | 370-8503 | 山の前 |
| 野中 豊彦 | 384-6818 | おがせ町第一 |
| 澤井 安直 | 385-3236 | 西北島・南北島・宮之前 |
| 加藤 光弘 | 384-0457 | おがせ町第三・城之屋敷 |
| 奥村 克治 | 384-9502 | おがせ町第四・第五 |
| 五島 俊明 | 384-5295 | 各務西組第一 |
| 左高 明美 | 384-1717 | 各務西組第二・船山東・西 |

<主任児童委員>

- | | | |
|-------|----------|------------|
| 佐藤 美法 | 370-4139 | 八木山小・各務小校区 |
|-------|----------|------------|

民生委員・児童委員紹介

地域での高齢者、障がい者、子育て等についての相談相手である民生委員・児童委員、主任児童委員の異動が平成25年12月1日付けでありましたので、お知らせいたします。担当の委員に気軽に相談ください。

ボランティアハウス紹介

ボランティアハウスおがせ

代表 小脇 繁

(毎月第三木曜日 十三時三十分より 各務福祉センター)

早いもので、支部社協事業の一つ「ボランティアハウスおがせ」(以下、「ハウスおがせ」という。)の活動を続けて十二年目を迎えました。日頃、地域のご高齢の方にとってとかく閉じこもりがちとなるなか、気軽に自由に参加・楽しく、そんなひと時を過ごして頂く事を願って月一回ささやかな活動ではありましたが、それでも以来継続できたお蔭で今年三月現在で百三十三の回数を重ねました。

これは偏に平素地域皆様方を始めハウスおがせをご利用頂いている皆様方が、支部福祉活動の趣旨をご理解頂いたうえ、特に長年継続しこのハウスおがせの活動にご参加・ご利用頂いた賜物であることに他なりません。誠に有難うございました。この紙面をお借りして地域皆様方に心よりお礼申し上げます。



また、これまでのハウスおがせの活動内容については、自由奔放な創作活動を始め、高齢者にも適度な工夫をして頂く内容の極力動作を伴

う内容のものを取り入れることに努め、更に年間にあつては季節相応の催し事や、時節柄別途写真の様なモノづくりなど、できるだけ利用者皆さんの意向に沿えるよう心掛け実施しております。皆様どうか遠慮なく是非ご参加くださるよう心よりお待ち申し上げます。終わりにあたりお願い事が一つあります。何故か男性の方のご参加が少ないので、どうぞ男女七十歳以上の方は、ハウスおがせに是非お出掛け下さる様、ボランティア一同、心よりお待ち申し上げます。

ボランティアハウス船山

代表 木村 明

(毎月第二日曜日 十四時より 船山町西集会所)

「ヘタでいい、ヘタがいい」といわれ、気軽に始めた絵手紙教室。町民の交流の場としておよそ十年。四季折々に咲く花をメインにし、身の回りにあるいろいろな物を描きながら、各人がそれぞれに楽しんでいきます。



絵手紙を差し出す相手からは大いに喜ばれ、文通が始まったり深まったりした例もあります。ときには健康維持のため、野外を散策し風景をスケッチして、でき

ボランティアハウスむらぐさ北島

代表 桑村 多鶴子

(毎月第一木曜日 十二時三十分より 北島団地公民館)



基本的には、ボランティアさんの手作り毎月公民館台所で、前日午後より仕込みに入る。また当日早朝より掃除、会場作り、そして配膳と、手分けをし準備完了。

由・・・和やかな雰囲気にも包まれ、今回も美味しく頂きました。と喜びの声、ボランティアさん達も嬉しいばかりに思わず笑顔に。(但し、七・八・九月の夏場は、茶話会になります)

十二時三十分、カーサ・レスパイトより介護福祉士様にお越し頂き出席者一人ひとり血圧測定、健康相談、介護相談、そして体力増進の為に健康体操、時には体操専門の先生にご指導を頂きます。娯楽として最後にビンゴゲームと、賑やかな時間を過ごします。又、年に一度、共に楽しく一層の親睦を深めるために、日帰り旅行を、十一月二日に富山県水見に行ってきました。

地域ふれあい広場

地域ふれあい広場に参加して

加納 颯馬



地域ふれあい広場の開催に関して、自治会・青少年育成市民会議・子供育成会・シニアクラブ・近隣ケアグループ役員の皆様等のご協力に、厚く御礼申し上げます。

今年、初めて四才の妹とお母さんと行きました。公民館につくと、たくさんのおじいさんやおばあさんがいたので、びっくりしたけど「おんちになわ。」と声をかけてくれました。

ほくは、友だちとよくしゃべりなかつたので少し不安だったけど時間になると友だちがたくさん来たのでホッとしました。紙皿でオウムを作ったり、皿回しであそんだり、ビンゴゲームでは一番いいようにビンゴになったのでうれしかったです。

来年も妹や友だちと一緒に参加したいです。

ふれあい、楽しかったよ

四年 長縄 帆香

十一月十六日に、西町公民館で、ふれあいがありました。わたしはふれあいに参加しました。まず、紙でインゴを作りました。教えて下さった方のお話を、よく聞いて、かわいく作れました。大変だったのは、まわりや細かいところをいかにきめること。まわりや細かいところをいかにきめることが出来ました。

次は、血まわし、わたがしの時間でした。血まわしは、血まわしが、右手と左手のかた手ずつならできました。来年は両手にちやうせんでみたいですね。わたがしは、大きいものをもらえてうれしかったです。そして、おいしかったです。そのあとに、ビンゴゲームをしました。わたしはお手つたいをして、ビンゴゲームをしました。ビンゴをして、手帳をもらいました。もらえてうれしかったです。

わたしは、このふれあいに参加して、来年も参加したいと思いました。今年のふれあいは楽しかったです。



ふれあい広場に行きたよ

二年 五島 だいき

十月十六日の西町ふれあい広場にいききました。まず、準備の手つたいをして、みんなをまわって、みんながきたら、あいさつがあつて、さいしょにインゴを作りました。そのあと、大人の人が血回しをおしえてくれました。また、わたがしをたべました。さいごにビンゴゲームをみんなでした。たのしかったです。もつとずうとやっていたいです。らいねんもいききたいです。六年生までまい年いきたいです。

